

研究機関：広島大学

研究課題名	非アルコール性脂肪肝炎に関連する血清内マイクロRNAの発現
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究院消化器・代謝内科学 教授 茶山一彰
研究期間	2016年9月29日(倫理委員会承認後)～2018年4月1日
対象者	2002年4月から2016年4月までの間に消化器・代謝内科に通院された非アルコール性脂肪性肝疾患のうち肝生検を実施し、「肝疾患の研究のためのデータベース登録」(疫-726)あるいは「肝疾患の研究のための検体保存」(疫M378)に同意を得られている患者。
意義・目的	非アルコール性脂肪肝炎(NASH)は、肝硬変や肝がんを発症するリスクのある病態ですが、その発症、進展メカニズムの全容は明らかになっていません。またその診断方法として現在は肝生検が必要ですが、患者さんに侵襲のある検査であり、非侵襲的な方法での診断方法が確立できれば非常に意義があると考えられ、本研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報、過去に採取し同意を得て保存している血清を用いて調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、血液検査結果(WBC, RBC, Hb, Ht, Plt, PT(%), Alb, T.bil, D.Bil, AST, ALT, ALP, γ -GTP, ChE, LDH, CreBUN, UA, Ferritin, CRP, FBS, 空腹時血糖, HbA1c, IRI, 血中インスリン, Tcho, LDL, HDL, TG, IV型コラーゲン, ヒアルロン酸, M2BPGi)等です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関(鳥取大学に情報を集め解析します。)	鳥取大学 医学部 附属病院 川崎医科大学 附属病院 川崎医科大学附属川崎病院 JA 広島総合病院 下関医療センター 島根大学附属病院
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料等を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5190 広島大学病院 消化器・代謝内科 助教 中原隆志